

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	膵腫瘍に対するロボット支援下膵体尾部切除術の有効性の検討		
2. 対象患者	膵腫瘍の診断にて2000年10月から2019年9月までにロボット支援下膵体尾部切除術もしくは腹腔鏡下膵体尾部切除術をお受けになった30名の患者さん		
3. 対象となる期間	2000年1月1日 ~ 2019年9月30日		
4. 実施診療科等	弘前大学医学部附属病院 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科		
5. 研究責任者	氏名	石戸 圭之輔	所属 弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	膵腫瘍に対するロボット支援下膵体尾部切除の有用性が多く報告されるようになっております。本研究は当院で臨床試験下に行われているロボット支援下膵体尾部切除術を検討することにより、同手術の有用性を明らかにする意義を持っております。		
8. 研究の目的	2000年10月から2019年9月の期間に、膵腫瘍の診断で弘前大学医学部附属病院でロボット支援下膵体尾部切除術もしくは腹腔鏡下膵体尾部切除術を受けた患者さんを対象としております。対象患者さんの診療録より、臨床所見、手術所見、術後所見および病理所見などを検討し、同手術の有用性と妥当性を明らかにすることを目的にしています。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録、血液画像検査を利用し、現病歴、既往歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、CTおよびMRI画像所見、術式、合併症などの手術関連情報を統計学的手法を用いて解析し、膵腫瘍に対するロボット支援下膵体尾部切除術と腹腔鏡下膵体尾部切除術の比較を行い、ロボット支援下手術の有用性と現時点での問題点を明らかにします。		
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外し、データを削除致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合は、データを修正することは出来ませんのでご了承願います。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では大鵬薬品工業(株)、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、小野薬品工業(株)、(株)ヤクルト本社、エーザイ(株)、MSD(株)、日本イーライリリー(株)、第一三共(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。		
12. 連絡先	弘前大学附属病院 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科 石戸圭之輔		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080